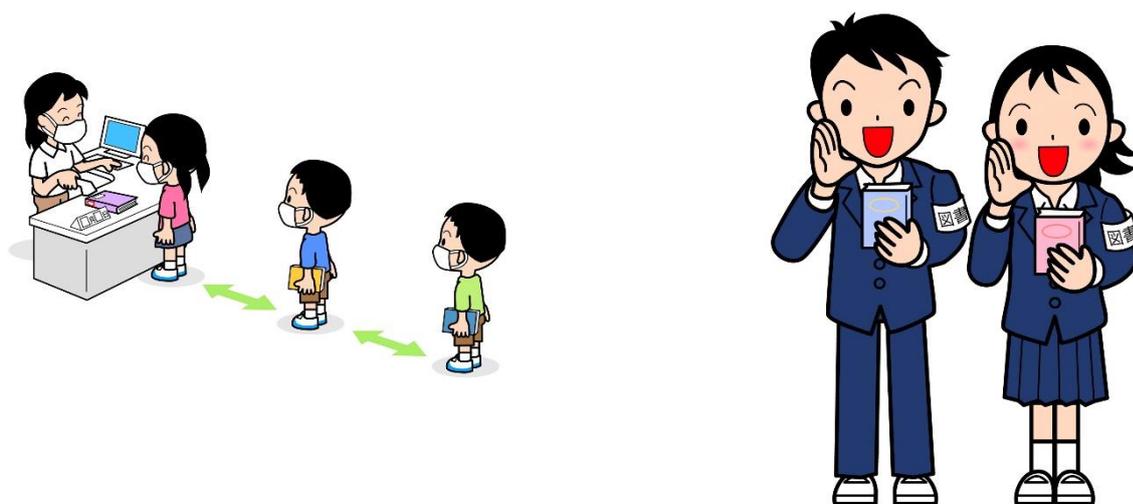


令和3年度

福岡県学校図書館協議会研究委員会

研究報告

— 令和元・2年度研究委員会紀要 —



福岡県学校図書館協議会研究委員会
小学校部会・中学校部会・高等学校部会

学校図書館を生かした授業づくり



学校図書館を生かした授業づくり

— 目 次 —

- （第1学年 国語科）「うみのかくれんぼ」
- （第2学年 生活科）「虫しらべ」
- （第2学年 生活科）「生きものはっけん」
- （第3学年 国語科）「図書館たんていだん」
- （第3学年 社会科）「北九州市のうつりかわり【小单元2】道具のうつりかわり」
- （第4学年 国語科）「きょうみをもったことを中心に、しょうかいしよう「ウナギのなぞを追って」」
- （第5学年 理科）「人のたんじょう」

うみのかくれんぼ

1 目標

- 文章の中の重要な語や文を考えて読み、読んで調べたことから必要な情報を選び出すことができる。
- 学習課題に沿って、文章の中で大事な言葉を押さえながら粘り強く取り組み、分かったことを伝えることができる。

2 活動の実際（全8時間）

次	子どもの活動	学級担任の指導	図書館教育に携わる教師の支援
第一次	1 学習課題を捉え、学習計画を立てる。	○ 様々な生き物についての本やDVDを提示し、擬態によって姿を隠すことができる生き物について調べたいという意欲を持たせる。	○ 学級文庫に関連図書を準備する。 ○ 図書館で、単元に関係のありそうな本の情報を提示する。
第二次	2 全文を読み、「問い」と「答えに」なる3つの生き物と文章のまとまりを捉える。 第1時 「はまぐり」がどのように隠れているかについて読み取る。 第2時 「たこ」がどのように隠れているかについて読み取る。 第3時 「もくずしよい」がどのように隠れているかについて読み取る。 第4時 3種類の生き物の隠れ方についてまとめ、それぞれの生き物が体の特徴に合わせた隠れ方をしていることを捉える。	○ 写真をもとにして文章と照らし合わせて読んだり、動作化したりする活動を通して、それぞれの生き物の隠れ方を正しく読み取ることができるようにする。	○ 児童の個々の調べ学習に必要な本を学級文庫に準備する。
第三次	3 生き物図鑑や科学読み物などを使い、他の生き物の隠れ方を調べてカードに書き、調べたことを友だちと伝え合い、学習を振り返る。	○ 一人一人が調べた生き物カードをもとに分かったことや気付いたことを交流させる。	

3 成果と課題

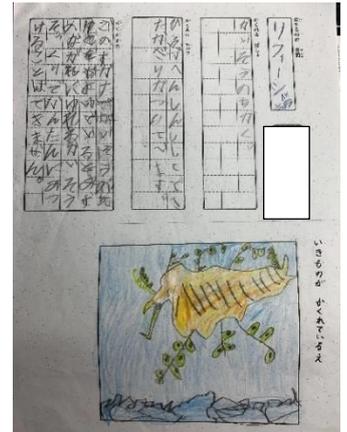
- 「うみのかくれんぼ」を学習する前に「見つけよう 生きもののかくれんぼ 海のかくれんぼ」シリーズに入っている、付録のポスターを教室に掲示していたところ、興味を持った子どもたちの学級文庫に集めていた関連の本を進んで読む姿が見られた。
- 自分の気になった生き物について、選定していた本の中から一人ずつ選び、ワークシートにまとめることができた。
- 学校司書の配置がないため、図書館教育担当の先生方や、ボランティアの方々と話し合う時間を設け、連携した授業づくりを今後していくことができるとより充実した活動が行えると考えている。

4 活動の様子・資料

教室掲示



授業の様子とワークシート

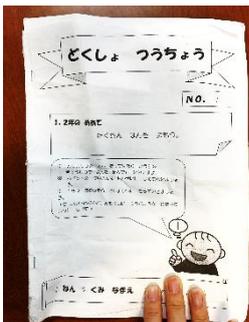


子どもたちに紹介した本

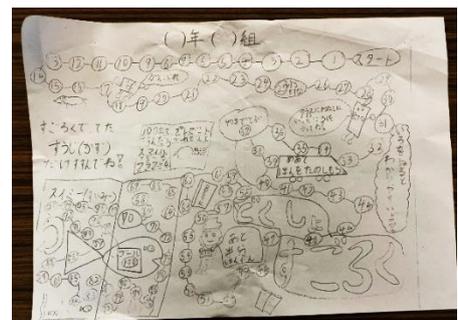
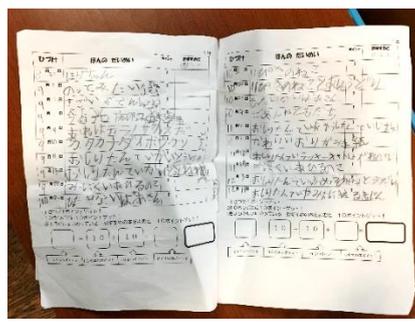
- ◇「見つけよう 生きもののかくれんぼ 海のかくれんぼ」……………小宮輝之 監修
- ◇「見つけよう 生きもののかくれんぼ 水べのかくれんぼ」……………小宮輝之 監修
- ◇「うみのかくれんぼ もぐってかくれる」……………武田正倫
- ◇「いろを かえて かくれる」……………武田正倫
- ◇「かたちを かえて かくれる」……………武田正倫

学校全体での図書委員の取り組み

- ①読書通帳……………学年ごとに合わせたものになっており、読んだ本を記録していく。1冊終わるとしおりをもらえる。
- ②読書すごろく…クラスで読んだ本の冊数に合わせて1～3までの目が出るサイコロを振り、読書量を増やす取り組み。



読書通帳



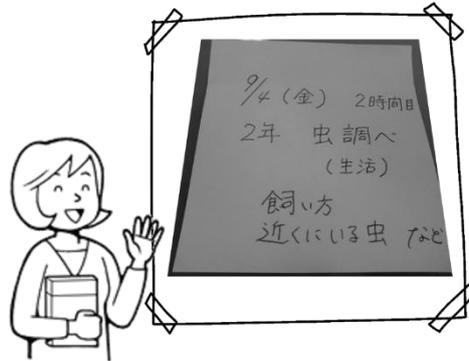
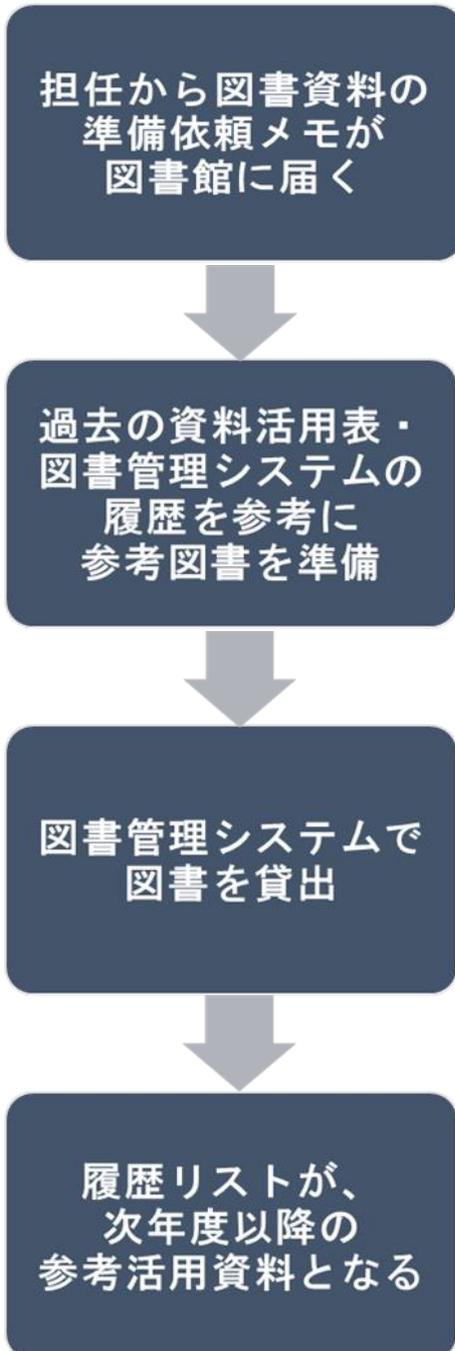
読書すごろく

虫しらべ

1 目標

- 学校図書館の学習センター機能を使って、調べ学習をする。

2 活動の実際



登録番号	書名	利用者ごとの貸出		
		期間	2020/08/29 から	2020/09/04
		巻次	分類	貸出日
	学級・氏名 (null)年(null)組 2年生学級用			
1066006195	さがしてみよう	486		2020/09/04
1066001461	昆虫	486		2020/09/04
1066007481	昆虫	486		2020/09/04
1066007493	飼育と観察	460		2020/09/04
1066007494	カブトムシ・クワガタムシ	486		2020/09/04
1066005694	ふしぎ・びっくり!? こども図鑑 さか	487		2020/09/04
	学級・氏名 (null)年(null)組 2年生学級用			[6冊]

- ① 資料活用表は紙状態とデータとして原則5年間保存となっている。
- ② 貸出履歴はシステムに永年保存されるので、次年度以降も参考にすることができる。

2 成果と課題

アンケート(1)の集約の結果、本を使って調べたいという児童が最も多いという結果になった。また、本に続いて多かったパソコンやスマホ、タブレットにしても、調べ方を学習することが必要だと思った。

つまり、

① インターネット情報は、必ずしも正しいとは限らないということを学び、自分の必要な情報を、多くの情報の中から取捨選択する力をつけなければならないこと

② 本の情報やだれかに尋ねて得た情報にしても、その情報源を明示するように、インターネットを使って調べるときにもネチケットを守り、情報源を明示しなければならないこと

今後は、図書館も通信や掲示物、またオリエンテーションなどで、本の貸出返却の仕方だけでなく、調べ方等も紹介していくようにしたいと思う。

次に、アンケート（2）集約の結果を、図書購入の参考にしていきたいと思う。また、自分で読みたい本を自分で探すことができるように、NDCを基にした自校独自のサインの掲示やオリエンテーションでの紹介を充実していきたいと思う。

調べ学習をする時、何を使って調べたいですか？一番使いたいと思うものから順番に記入し、その理由を書いて下さい。

	1年(%)	2年(%)	3年(%)	4年(%)	5年(%)	6年(%)	平均(%)
本	22	19	23	19	16	26	22
パソコン	18	24	19	26	25	16	21
スマホ、タブレット	23	21	26	26	27	14	22
新聞	10	11	9	12	14	16	12
人に聞く	22	20	16	10	13	21	17
その他	5	5	7	7	5	7	6
	100	100	100	100	100	100	100

順位	種類
1位	本
1位	スマホ、タブレット
3位	パソコン
4位	人に聞く
5位	新聞
6位	その他

人に聞くの内訳	1年(%)	2年(%)	3年(%)	4年(%)	5年(%)	6年(%)	平均(%)
父	33					17	10
母	17		50	40	100	33	48
兄弟姉妹	17		50	40			21
学校の先生	33				50		17
いろいろな人				20			4
	100		100	100	100	100	100

順位	人に聞くの内訳
1位	母
2位	兄弟姉妹
3位	学校の先生
4位	父
5位	いろいろな人

令和2年7月10日 調べ
久留米市立 下田小学校

①あなたが、おもしろいと思う種類の本は下の中のどれですか？○でかこんでください。○はいくつでもいいです。

	1年(%)	2年(%)	3年(%)	4年(%)	5年(%)	6年(%)	平均(%)
古い	0	0	13	6	24	23	10
星や空	0	9	13	6	7	14	8
生き物	7	20	8	6	7	4	9
植物	4	0	8	6	0	0	3
乗り物	7	14	4	0	0	0	5
料理・手芸	11	0	13	6	16	4	8
自然科学	0	0	8	0	7	4	3
絵本	18	5	4	23	0	10	10
日本の物語	14	14	4	12	0	14	10
外国の物語	7	9	4	6	0	0	5
怖い話	11	9	17	23	32	23	18
めいろ	21	20	4	6	7	4	11
合計	100	100	100	100	100	100	100

順位	種類
1位	怖い話
2位	めいろ
3位	古い
3位	絵本
3位	日本の物語
6位	生き物
7位	星や空
7位	料理・手芸
9位	乗り物
10位	外国の物語
11位	植物
12位	自然科学

②自分が読みたい本を、図書室で見つける事は出来ますか？

	1年(%)	2年(%)	3年(%)	4年(%)	5年(%)	6年(%)	平均(%)
はい	67	100	86	71	75	100	83
いいえ	33		14	29	25		17

令和2年7月11日 調べ
久留米市立 下田小学校

3 活動の様子・資料

【使用した本】



【活動の様子】



生きものはっけん

1 目標

- 生き物の飼い方や育て方について、本で調べることを通して、自分の選んだ生き物に合ったすみかを作ることができる。
- それぞれが調べた生き物の育て方を班で交流する活動を通して、生き物は、すみかや餌の種類・量など、それぞれにあった世話の仕方があることに気付くことができる。

2 活動の実際（全8時間）

次	子どもの活動	学級担任の指導	学校司書の支援
第一 次	○ 身近にいる生き物について、それらが見つかる場所を教え合い、探しに行く計画を立てる。 (1時間)	○ 次時の生き物探しの活動を意識することができるように、学校の場所ごとに、見つけやすい生き物を板書する。	学級に「うちどく文庫」を設置し、児童が様々な種類の本を読む機会を増やす。
	○ 生き物探しに必要なものや、気を付けることを確認した後、運動場で生き物探しをする。 (2時間)	○ 色・形・大きさ等に注目して、観察カードを書くことができるように、国語科「かんさつ名人になろう」で学習したことをふり返る時間をつくる。	
第二 次	○ 生き物探しで見つけた生き物について、観察カードに絵と文でまとめる。 (1時間)	○ 生き物によって、すみかや餌など、飼い方・育て方が異なることに気付くことができるように、班ごとに調べる生き物をわける。 (写真1)	○ 全員が本を手にするように、事前に図書館の本、地域の図書館の本を集めておく。 ○ 生き物の飼い方についての資料を探ることができるように、図書館の本の分類について説明する。
第三 次	○ 生き物の飼い方について、班ごとに担当を決め、図書館で調べる。 (1時間)	○ 成長した生き物の様子を観察カードにまとめる。(1時間)	
第四 次	○ それぞれが調べた生き物の育て方について、交流する。 (1時間)	○ 生まれた生き物や、死んでしまった生き物をどうすればよいかについて話し合う。 (1時間)	○ 生き物の成長を十分に見ることができるように、補助教材として写真や動画を用意する。

継続して行う

3 成果と課題

- 生活科で調べ学習の方法として本を提示したことで、調べ学習の手段として、本を選ぶ児童が増えた。また、使いたい手段の1位を5点、5位を1点として点数化すると、本の得点が49点から57点に上がったことから、本を選んだ児童の中でも、本を優先して使おうとする児童が増えたと言える。
- 興味のあるジャンルは実践前と後で大きな変化が見られなかった。絵本は国語科の時間や、朝の読み聞かせの時間に担任やボランティアによって、定期的に新しい本が紹介されているため、多くの児童が興味をもっている。一方でその他のジャンルについては、授業でも触れる機会が少ないため、今後も学校司書と連携して、本を紹介する機会を設ける必要があると考えられる。
- 図書館で本を自力で探せる児童が減った理由としては、実践途中に本の場所が一部変更になったことが考えられる。本が探しやすい図書館の環境づくりも今後の課題である。

4 活動の様子・資料

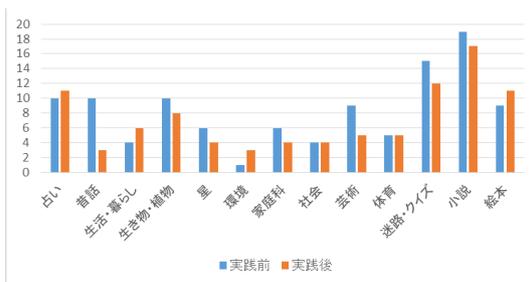
○ アンケートの結果

2年2組24名に調べ学習の方法と、興味のある本に関するアンケートを6月に実施した。実践後、1月下旬に同アンケート（2回目）を実施した。アンケートでは、2年生の児童もわかるように、「家庭科→りょうり、しゅげい」「環境→リサイクル、ごみ」など、アンケートの項目名を一部変更した。

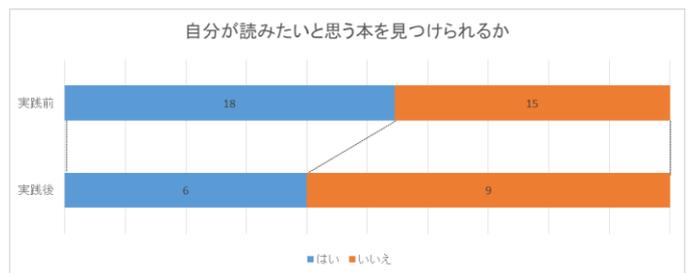
Q1 わからないことや知りたいことを調べる方法は何ですか。

	実践前			実践後	
	項目	人数		項目	人数
1位	人に聞く	16	1位	人に聞く	18
2位	スマートフォン	14	2位	スマートフォン	14
3位	本	11	2位	本	14

Q2 興味のある本のジャンルは何ですか。



Q3 自分の読みたい本を、図書館で探せますか。



○ うちどく

うちどくとは、家庭での読書「家読（うちどく）」を推進するために、学級ごとにコンテナに本（約20冊）を入れ、定期的に中身を交換するものである。（写真2）本校での取り組みは、今年度が初めてであり、本は持ち帰らず、学級内で読むこととした。また、読み終わった本の名前の横にシールを貼ることで、利用状況を可視化した。（写真3）



写真1 生活科の時間 図書室利用の様子



写真2 うちどく文庫



写真3 チェックシート

図書館たんていだん

1 目標

- 図書館の本の分類について調べる活動を通して、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができるようにする。学習課題に沿って、図書館利用に関わることを進んで知ろうとする態度を養う。

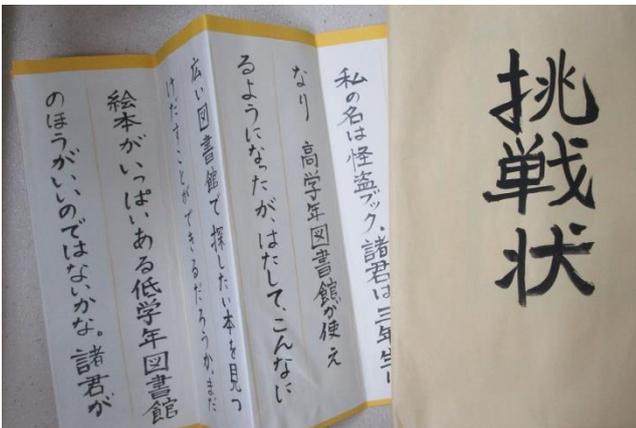
2 活動の実際（全1時間）

次	子どもの活動	学級担任の指導	学校司書の支援
第一 次	1, 学校図書館を利用したことを想起させる。	○ 図書館のことをもっと知るための課題（挑戦状）を提示する。	
	2, めあてを確かめる。 「めあて 図書館たんていだんになって、本さがしをしよう」	○ 探したい本が見つからなかったことを想起させ、図書館のことをもっと知りたいという意欲をもたせる。	
	3, 本の配架について知る。	○ 十進分類について知らせる。	
	4, 図書館の地図を作成する。	○ 課題が難しい児童には、「本の分類番号」や「種類」など、分かることをでいいと伝える。	
	5, 目的に沿った本を探す。	○ みんなで完成させた図書館の地図を参考にして、目的の本がある場所を予想してから探すようにする。	
	6, 学習を振り返る。	○ 図書館の本の並び方にはきまりがあること、分類に目をつけると本を探すときに便利なことを確認する。	

3 成果と課題

- 本の分類や配架を知ること、他教科の学習で調べるための本を探すときに、このあたりに本がありそうだと予想をしてから書架に向かうようになった。図書館を利用後、本の整理整頓をするときにも、分類を意識して片付けをするようになった。
- 分類について学習をした後から、「読書の記録」にも読んだ本の請求記号を書くようにした。記録をしていくことで、自分の読書傾向が把握できるようになった。
- 2年生までは、低学年用の図書館を利用していた。初めて高学年用の図書館を利用するときに実践を行ったので、本の並べ方に戸惑う児童がいた。3つの課題を準備していたが、時間が足りずに2つしかできなかった。
- 分類に沿って本を探しても、正しい書架に本が戻っていないと見つけることができないので、日常的に本を整理しておく必要がある。
- 勤務校では、学校司書がいないため、担任だけで学習を進めた。学校司書がいて、アドバイスなどをしてもらえると効率よく学習が進められたと思う。

4 活動の様子・資料



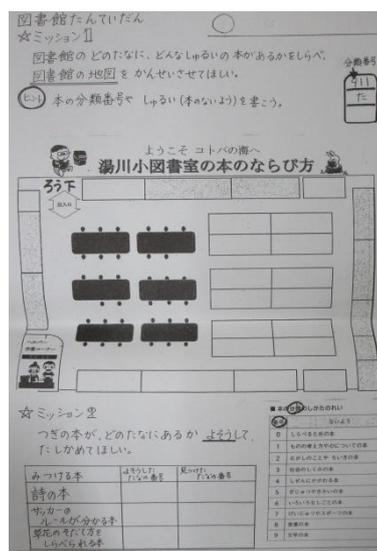
【学習の意欲を高めるための挑戦状】



【調べたことは、各自ワークシートに記入】



【全体で確認した図書館の地図】



【児童の使ったワークシート】

北九州市のうつりかわり【小単元2】道具のうつりかわり

1 目標

- 使われる道具の変化について，人々の生活と関連を踏まえて理解するとともに，調査活動，具体的な資料を通して，必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 使われる道具の変化や，人々の生活との関連を考える力，考えたことを表現する力を養う。
- 学習問題を追究・解決するために，使われる道具の変化について意欲的に調べ，特色や相互の関連，意味について粘り強く考えたり，調べたことや考えたことを表現しようとしたりする主体的な学習態度を養う。

2 活動の実際（全6時間）

次	子どもの活動	学級担任の指導	学校司書の支援
第 一 次	1, 今でも使われている昔の道具について話し合う。	○ 昔の様子が分かる写真を提示して，知っている道具について話し合わせる。	○ 昔の様子が伝わる本を準備する。
	2, 今と昔のくらしの違いを元にして，学習問題をつくる。	○ 学習問題をつくり，学習の見通しを持たせる。	
	3, 昔の道具が，いつ，どのようにして，どんなことに使われたか調べる。	○ 図書館の本から，昔と今の生活の様子を比較させる。	
	4, 昔の道具や，くらしについて家の人からインタビューしたことをまとめる。	○ 興味をもった昔の道具について家庭でインタビューしたことを出し合わせるようにする。	
	5, 道具がかわることで人々のくらしがどのようにかわったのか話し合う。	○ 本で調べたり，インタビューしたりして分かったことをあげながら，くらしの変化をつかませる。	
	6, 道具とくらしのうつりかわりを年表にまとめる。	○ 年表にまとめることで，道具と共にくらしが変化してきたことに気づかせる。	

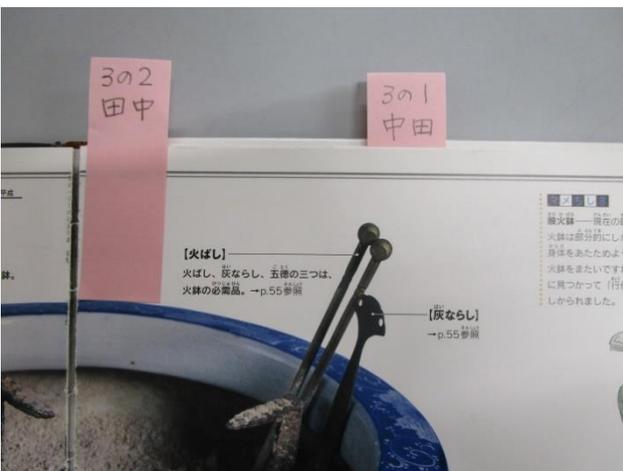
3 成果と課題

- 図書を活用することで、多岐にわたる昔の道具について知ることができた。「かまど」や「水屋」など昔の道具や言葉について知らない児童にとって、本で調べ、知識を得ることで、学級全体で昔の道具の共通のイメージをもつことができた。
- 調べたいことを探すために、ページをめくることで、「昔の乗り物」や「昔の給食」「昔の遊び」など、目的以外の「昔のもの」に興味をもつ児童もいた。生活で使う道具だけでなく、他のものについても進んで調べていた。
- 資料となる本の本数が限られていたので、図書館にある関連した本は全てブックコンテナに入れて学年廊下に置いた。調べる時間が重ならないように学年で相談して、時間割を決めた。その際、自分が調べている本のページに名前を書いた付箋を貼っておいた。自分の調べたいことを書き写し終わって他の人が貼ったページを読んでいる児童もいた。付箋が、お勧めのページの目印となっていた。
- 学級の全児童分の図書を用意できても、調べたいことが載っていない場合があり、課題を解決できない児童もいた。興味に沿った十分な図書を、どうすれば準備できるかが課題である。

4 活動の様子・資料



図書館から貸し出した本は、ブックコンテナに入れ、3クラスがいつでも使えるように、学年廊下に置いた。



調べ学習に使っている本には、名前を書いた付箋を挟んで置き、付箋のある本は、その人が優先して使えるというルールを決めておいた。

きょうみをもったことを中心に、しょうかいしよう「ウナギのなぞを追って」

1 目標

- 文章のおもしろさを感じながら要点を見つけて文章をまとめ、感じたことを書くことができる。
- 「ウナギのなぞを追って」の要点を見つけて要約したり、学校図書館で見つけた本のおもしろいと思ったことを中心にまとめたりする活動を通して、文章の中心を見つけることができるようにする。

2 活動の実際（全10時間）

次	子どもの活動	学級担任の指導	学校司書の支援
事前	○ 本を読んで、その題名と感想を記録して分類ごとに分ける。 【写真1】「読書の旅」	○ ラベルの見方を指導し、どんな本がどの分類の本なのか意識させる。	○ 図書館内の分類表示などの整備をする。 ○ 図書館機能についての学習を支援する。
第1次	○ 文章を読んで、興味をもったこと、疑問に思ったこと、筆者に対してどう思ったかを発表し合い、大まかな内容を捉える。	○ おもしろいと思ったことを初め・中・終わりに分けて中の内容に興味が集まっていることを捉えさせ、学習の見通しを立てさせる。	
第2次	○ グループごとに段落ごとの要点を整理したり、キーワードを集めたりして文章を要約する。	○ キーワードを見つけるための視点を与え、グループの話し合いを活発にさせる。	
第3次	○ 自分が興味をもったことを中心に感想をまとめ、要約とともに紹介カードをつくる。	○ 初め・中・終わりに分けて、それぞれに書く内容を確認する。	○ 「ウナギのなぞを追って」関連図書を準備する。
第4次	○ ウナギ以外の動物や産業について、興味をもったことを中心に紹介カードをつくる。	○ 「読書の旅」を提示し、今まで読んだ人が少ない分類の本に挑戦するよう促す。 ○ また、本を探す際は、1冊だけでなく、多くの本を読んで、おもしろいと思ったことを中心に探すよう促す。	○ 分類を意識して本を探すよう促したり、子どもたちと一緒にテーマに合う本を探したりする。
事後			○ 「読書の旅」のボードを図書館内に効果的に掲示するとともに、としょだよりで紹介する。

3 成果と課題

- アンケートをとったり、子どもたちがおもしろいと思った本を分類で分けさせたりしたことは、教師が子どもたちの読書の実態を把握できるだけでなく、「1類はまだ読んでいない人が少ないから読みたい。」という分類を意識した読書につなげることに有効だった。
- 「ウナギのなぞを追って」の学習から自分の興味のあるテーマについて読んだことをまとめる活動につなげたことは、学校図書館を使って、子どもたちの学びを定着させる上で有効だった。
- 学習後、その成果を学校図書館に掲示することで、学習をした子どもたちに達成感を味わわせることができただけでなく、学校全体に対して読書の幅を広げることや、図書館の機能への理解を深めることにつながっている。
- 「ウナギのなぞを追って」との出会いを、本をつかって設定するなど、本のおもしろさを感じさせる工夫がさらに必要だった。

- 学校図書館に多く通えない特殊な状況の中で、より多く幅広い本との出会いをさらに増やす方法を学校司書と連携してさらに広げていく必要がある。

4 活動の様子・資料

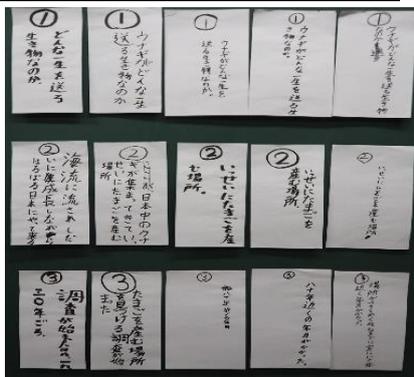
○事前の活動・・・実態把握

年度当初（6月）に行ったアンケートによると、幅広い種類の本に興味をもっている子どももいた。しかし、その一方で、子どもたちの興味は9類に偏り、3類や8類に興味が薄いのが分かった。さらに、「目指せ！完全制覇！4の1読書の旅」【写真1】と名付けて、読んだ本の題名と感想を書かせた紙を分類ごとに分けさせると、やはり子どもたちは9類の本を多く読んでいることが分かった。さらに、興味が薄いとアンケートで出ていた3類や8類の他に、1、4、5類の本も子どもたちがあまり手にとっていないことが分かった。



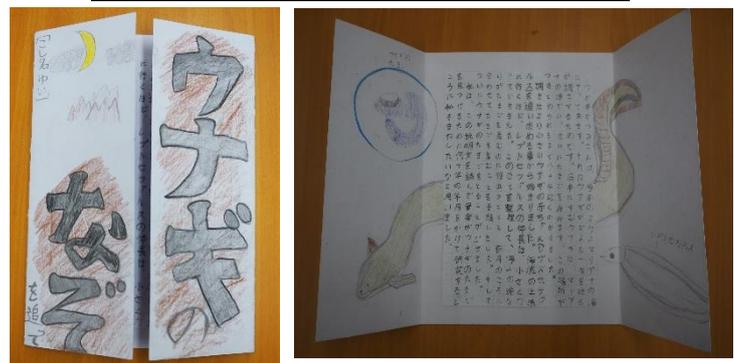
【写真1】

○段落毎のキーワードをまとめる



グループ毎に段落ごとのキーワードを話し合い、全体で吟味した。

○「ウナギのなぞを追って」の紹介カード



紹介カードという形で、読んだ文章について、目に見える形で成果を残す。紹介カードは、「ウナギのなぞを追って」を読んだことがない保護者に向けてのものであるので、裏に「保護者から」「先生から」という欄をつくり、家庭と学校両方で読書の成果をプラスに評価し、次の活動へつなげた。

○自分が選んだテーマの本の紹介カード

テーマを選ぶとき、ウナギ以外の動物についてのなぞはもちろん、「読書の旅」をもとに、様々な分類のテーマにチャレンジすることのよさを伝えた。その結果、3類の法律や5類の産業についてのテーマを選んでそのおもしろさを感じている子どももいた。

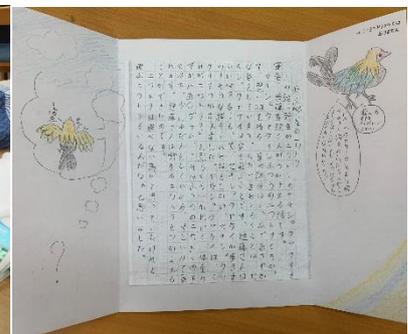
自分が選んだテーマについての本を探すとき、まず、図書館で分類表を確認し、自分が探したい本の分類と、その本が図書館内のどこにあるか確認して、ほしい情報を探していた。また、同じテーマでも複数の本を読んで自分の興味を中心に探して、要約し、紹介カードを作った。



【写真2 分類を確認する姿】



【写真3 複数の本から興味を中心に探す姿】



【写真4 完成した紹介カード】

○事後の活動

クラス独自で行っていた「読書の旅」の活動後のボードを、学校図書館内に掲示してもらった。子どもたちは、自分たちの分類を意識した読書が全校に広まることでやりがいを感じていた。

人のたんじょう

1 目標

- 人の発生についての資料を活用する中で、胎児の様子に着目して、時間の経過と関係付けて動物の発生や成長を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けることができるようにする。
- 主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。

2 活動の実際（全8時間）

次	子どもの活動	学級担任の指導	学校司書の支援
第一次	○ 人の誕生について、知っていることや不思議に思っていることを話し合い、学習課題を持つ。	○ 学習課題を設定することができるようにするために、メダカの誕生を思い出させながら、人の誕生について知っていることや不思議に思っていることを話し合わせる。	○ 子どもたちの不思議に思っていることや学習内容に沿った本を選択する。
第二次	○ 胎児の成長の様子をメダカなどの生き物の成長の様子と比べながら調べる。	○ 胎児の様子について、時間を追って調べることができるように、ノートを工夫したり、グループで役割分担したりさせる。 ○ 違った資料の良さを感じることができるように、一つの資料だけでなく、複数の資料で調べるように助言する。	○ 選択した本を子どもたちに提供する。
第三次	○ 胎児の成長や母親の子宮の中の様子について調べたことをまとめて、発表する。	○ 胎児が子宮でどのように成長するのかを、時間を追ってグループでまとめさせる。 ○ 調べて分かったことや使った資料のよさを含めた感想を合わせて、発表ができるようにする。	
第四次	○ 「確かめよう」、「学んだことを生かそう」を行う。	○ 知識を確認することができるように、調べて分かったことを振り返らせる。	

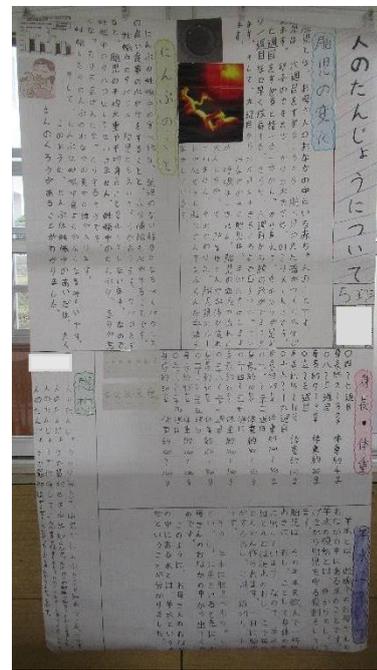
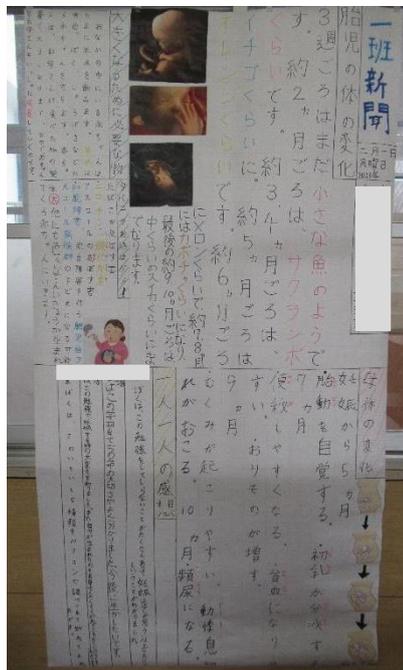
3 成果と課題

- 本を活用することで、「たくさんの情報が一度に一冊で調べられること」「情報が正確」「目次があって、探しやすい」「持ち運びができて、いつでも見ることができる」という良さを多くの子どもたちが感じる事ができた。
- 複数の本を使用することで、偏った情報だけでなく、さまざまな見方で「人のたんじょう」について調べることができた。
- 本の情報は正確ではあるが、調べたいことが見つからなかったり、情報が古くなったりして、どの本を使用して調べ学習を進めるのかという本の選別が必要だと感じた。
- 学校図書館に図書館司書が在籍していないことで、公立図書館へ足を運ぶ時間が必要になったり、借りられる学級が限られたりして、本を活用したい時に図書館司書の支援を受けることが難しいことがあった。

4 活動の様子・資料



【グループ活動の様子】



【完成した新聞】

【使用した本】

- ・ 『赤ちゃんの誕生』 ……………ニコル・テイラー：作／あすなろ書房
- ・ 『赤ちゃんの生まれる いのちの冒険旅行』
……………ニルス・タヴェルニエ：作／ブロンズ新社
- ・ 『赤ちゃんが生まれる（幼年版）』 ……………ニルス・タヴェルニエ：作／ブロンズ新社
- ・ 『赤ちゃんが生まれる』 ……………北村 邦夫：監修／金の星社
- ・ 『赤ちゃんはどこからくるの？』 ……………平原 史樹：監修／少年写真新聞社
- ・ 『赤ちゃんのはなし』 ……………マリー・ホール・エッツ：作／福音館
- ・ 『生まれるための9ヵ月』 ……………カトリーヌ・ドルト＝トリッチ／リブリオ出版
- ・ 『いのちと細胞』 ……………高沢 謙二：監修／ほるぶ出版

各学校の年間カリキュラムを見直すことで、効果的な学校図書館利用について考えよう



中学校における学校図書館利用推進のための取組

北九州市立沼中学校 教諭 栗本 緑

1 はじめに

学校図書館司書教諭の免許を取得する際の大学の講義の中で、とても印象に残った言葉があります。「公共図書館にとって本は『蔵書』だが、学校図書館にとって本は『資料』である。だから、学校図書館では、各学校のカリキュラムや行事を考慮し、生徒や先生が常にぴったりの情報を得られるように整備しなければならない」

それ以来、学校図書館に来た人が思い描いていた資料を素早く手に入れられることを心がけて館内整備を行ってきました。今回は北九州市立戸ノ上中学校での取組について報告します。

○ 配架～十進分類法を基本とするが、とらわれない～

図書館での配架は日本十進分類法が基本となっているが、時として関連する資料がバラバラに置かれていて授業等で資料集めに苦勞することが多いようです。そこで、十進分類法を基本とはしますが、似た内容や関連する資料などは同じ書架に並べ、館内を探し回らなくても資料が集められるように配架しました。

例えば「宇宙について」の棚には、惑星についての科学的な本の他に、星座物語の本や「はやぶさ」誕生の物語などを配架しました。（写真1）

「スポーツ」の棚には、各競技の練習のしかたやルールについての本の他に、各競技の有名選手の自伝やエッセイなども一緒に配架しました。（写真2）



（写真1）



（写真2）



（図1）

各学校図書館で「平和に関する資料」や「郷土資料」などの特設コーナーを設けることはよくあると思いますが、いわば「館内のすべての書架が特設コーナー」状態です。動物、植物、美術、舞台芸術などと大きなくくりの中で、そのキーワードに関連するものを集めて配架しました。その際、書架表示は分類番号と文字だけでなく、関連するイラストを入れ、一目でわかるようにしています（図1）。その結果、十進分類法に慣れていない生徒でも資料のおいている場所をすぐに見つけることができるため、授業などで図書館がよく利用されるようになりました。生徒や先生からも「見やすくなった」「探しやすい」という感想をいただきました。

○ 学校図書館利用のしおり

中学校に入学してくる新入生は、小学校での「図書の日」を通じて図書館の利用方法やマナーを身につけたうえで入学してきます。しかし、小学校と中学校の本の分類方法（特に分類番号）に違いがあるときがあり、なかなか中学校の学校図書館になじめないという事象もみられました。そこで、中学校の学校図書館の利用方法についてパンフレット形式の「学校図書館利用のしおり」を作成し、入学直後の国語科の授業で配布し、実際に図書館に入って説明を聞くことで、利用の促進を図りました。

戸ノ上中学校 図書館利用案内



◆開館時間・月曜日～金曜日 13:30～13:45

※行事などで変更する場合があります。各教室や図書館前に掲示しているライブラリーカレンダーで確認してください。

※その他、各教科の授業や学級活動などで利用することもあります。

◆貸出冊数・期間

貸出冊数	1人2冊まで ※長期休みの特別貸出の際には貸出冊数が増えることもあります。
貸出期間	1週間 ※長期休みの特別貸出は、学校図書館だよりや掲示でお知らせします。

図書館を利用するときに気をつけること



・図書館内では、静かにしましょう。

図書館は、静かに本を読む場所です。大きな声で話したり、走り回ったりしないようにしましょう。利用時間中は、館内に静かな音楽を流します。その音を超えるような大きな声や音を出してはいけません。

・本を読むときは「一人一冊」です。

一人で目の前に何冊も積み上げて読むのは、やめましょう。あなた以外にもその本を読みたいと思っている人が読めなくなります。

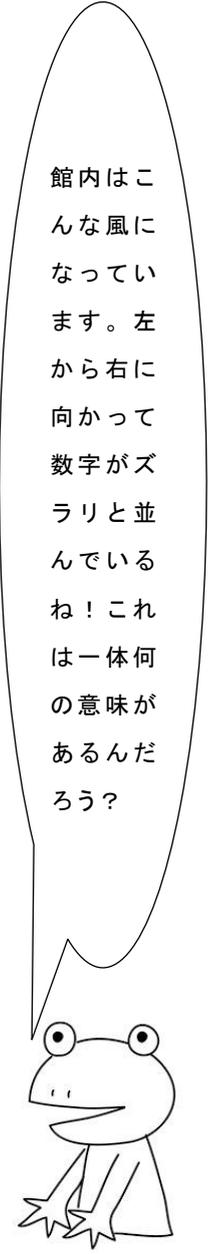
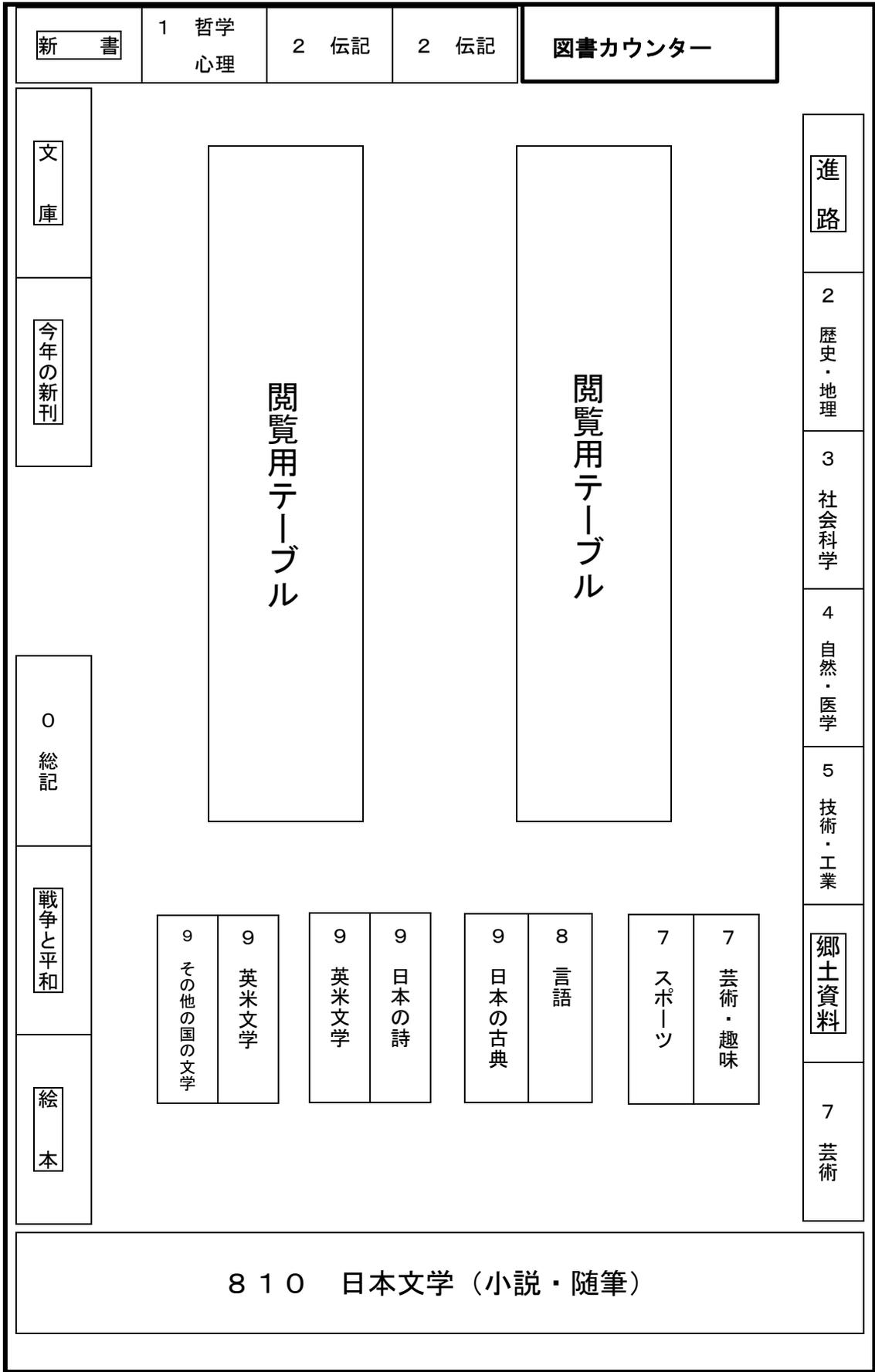
また、一冊の本を二人以上の人と一緒に読むのもやめましょう。周囲の迷惑になります。

・本はていねいにあつかいましょう。

書き込みや切り抜きは絶対にやめてください。

・本は、必ず元の位置に戻しましょう。

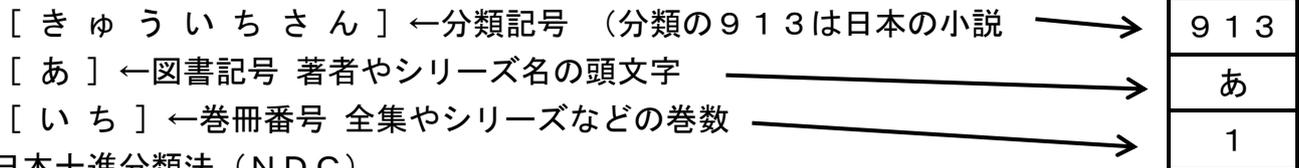
・本を持ち出すときは、必ずカウンターで貸し出し手続きをしましょう。



◆本の分類

図書館の本は内容によって分類されています。(下の表参照)

本の背に貼ってあるラベルは、日本十進分類法(NDC)という決まりに従っています。本はこのラベルに従って書架(本棚)に並べてあります。本のラベルには請求記号が書かれています。



日本十進分類法(NDC)

000	総記	百科事典 調べる本 図書館 読書 情報
100	哲学	人の生き方 心理 宗教
200	地理歴史	歴史 伝記 地理
300	社会科学	政治 法律 経済 社会福祉 職業 人権 教育 戦争
400	自然・医学	数学 化学 天体 植物 動物 医学 食品
500	技術・工業	環境問題 機械 電気 料理 手芸 育児
600	産業	農業 園芸 畜産 林業 水産業 交通 通信
700	芸術	美術 音楽 演劇 スポーツ ゲーム
800	言語	日本語 英語 ことばの辞典
900	文学	詩 短歌 俳句 小説 随筆(日本 外国)

いちばん左のケタだけとって0類, 1類...9類と使うこともあります。

そのほか,

今年の新刊, 絵本, マンガ, 文庫, 新書, 郷土資料, 戦争と平和, 進路, 中高生新聞,

などは,

それぞれ専用のコーナーにあります。

◆本の借り方

- ① 借りたい本が決まったら, 本を持ってカウンターに行きます。
- ② 「本を借ります。」と言って図書委員当番に本を渡してください。

当番が本のバーコードと貸し出しカードのバーコード(カウンターにあります)を読み取って登録します。当番から本を渡されたら, 手続き終了です。

★返却期限を守りましょう。貸出期間は一週間です。

★自分が借りた本は他の人に貸してはいけません。

★貸出期間内に読みきれなかったときは一旦返して, もう一度貸出の手続きをしてください。予約が無ければ延長して借りられます。



◆本の返却

- ① 読み終わった本を返却する場合は、図書委員当番に「本を返します。」と言って本を渡してください。
- ② 当番が本のバーコードを読み取って手続き完了です。当番から本を渡されたら、自分で本を元あった本棚に返してください。

★ 学校図書館が閉まっているときは、図書返却ポスト（図書館前）に入れてください。（ポストに入らないときは直接返しに来てください。）

◆その他の注意

貸出できない本昼休みや放課後に図書館内で読んでください。

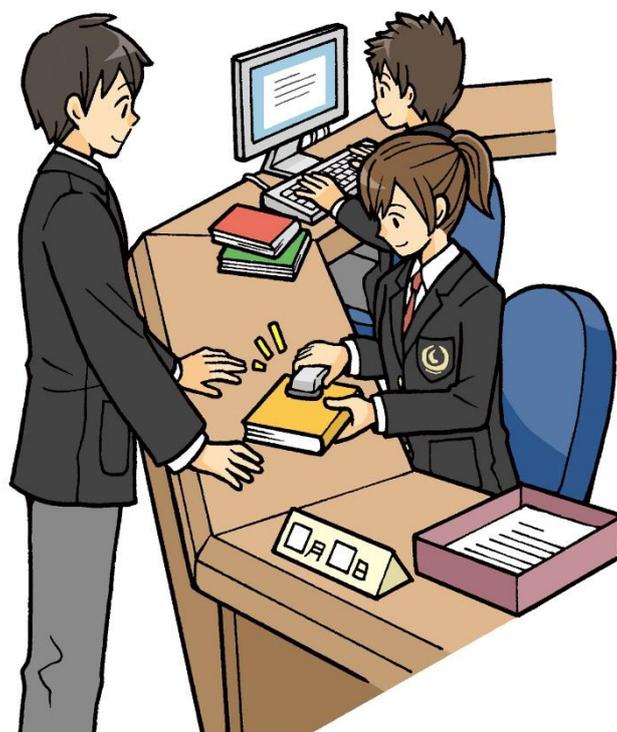
図書館から持ち出さないと決められた本は貸出できません。

- ① 赤くて丸い禁帯出ラベルのはってある本
- ② 百科事典・図鑑・辞書
(授業で特別に貸し出す以外、図書館から持ち出しできません。)
- ③ 調べ学習の授業でたくさんの人が同時期に使う場合
(授業で使った後はすぐに返却してもらいます。)
- ④ 北九州市立図書館や他校から借りた本
- ⑤ 雑誌、パンフレット類（T中図書館のバーコードがついていないもの）。

図書委員会では、年に一度、夏休み前に「新刊購入希望調査」を行っています。図書館にない本で、読んでみたい本があれば、この調査でリクエストしてください。担当の先生たちで話し合い、図書館にふさわしい本であれば、購入したいと思います。



生徒が主体的に本に関わるための取組



生徒が主体的に本に関わるための取組

目次

はじめに

授業実践事例紹介

「日本史探究 図書館を活用した授業 実践報告」・・・（若松高等学校）

「英語 英語で世界各国を紹介する 実践報告」・・・（小郡高等学校）

「生徒が主体的に本に関わるための取り組みについて」・・・（城南高等学校）

生徒図書委員合同研修会について

令和元年度図書委員合同研修会日程表

「北九州地区高等学校図書委員夏期合同研修会」・・・（若松高等学校）

「筑豊地区高等学校図書委員夏期合同研修会」・・・（嘉穂総合高等学校）

「福岡地区高等学校図書委員合同研修会」・・・（香椎高等学校、城南高等学校）

「筑後地区高等学校図書委員合同研修会」・・・（大牟田高等学校）

コロナ禍における図書館運営

在宅勤務について

おわりに

はじめに

平成30年に定められた第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」において、読書習慣の形成や不読率を改善するために、知的興味に応じた幅広い読書や読書への関心を高める取組を充実させるための方策が明示されました。

高等学校部会では「生徒が主体的に本にかかわるための取組」を研究テーマとし、読書への関心を高める具体的事例として、「授業実践報告」と各地区で実施している「生徒図書委員合同研修会の実践」についての考察を研究の中心として捉えることにしました。

しかしながら全世界を席卷している新型コロナウイルスの感染拡大による影響は、私たち高等学校の小さな研修会までも、その開催を中止せざるを得ない状況に巻き込んでしまいました。

例年4地区すべてで実施されている生徒図書委員合同研修会が、令和2年度は北九州地区でzoomによる研修が開催されただけで、福岡、筑豊、筑後の3地区は中止せざるを得ない状況となり実施されませんでした。

また、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために行っている「三密」を回避するために図書館を利用した授業実践もこれまでのようにはできなかつたため、発表内容も令和元年度に実施したものになっておりますことをあらかじめご承知いただきたいと思ひます。

令和3年度は生徒たちが「かけがえのない一冊」に出会えるよう、図書館活動の一刻も早い復活を願ってやみません。

日本史探究 図書館を活用した授業 実践報告

福岡県立若松高等学校

1 主題設定の理由

近年、スマートフォンの急速な普及に伴い、図書館において読書を楽しむことはあっても、書籍から新たな知識を得ることを目的として活用する機会は減っている。そのため、授業の中で、自ら調べ学習のテーマを設定して、そのテーマについて図書館にある書籍を活用して調べさせる。さらに、レポートおよびパワーポイントにその内容や考察をまとめ、発表させることで、書籍の活用方法を身に付け、その有意性を実感させることがこの授業のねらいである。加えて、生徒に知識のみならず、思考力や表現力を身に付けさせる。

2 指導の実際

○年間指導計画の作成

3年 日本史探究 年間指導計画より抜粋

月	単元	指導内容	指導上の留意点	評価規準
4	日本史探求とは	○ ガイダンス ○ 様々な資料を知る	・年間の学習内容・評価方法を説明し、学習の目的を理解し、目標を設定させる。 ・教科書の記述から地域の歴史に関するものを取りあげ、 <u>それについてどのような方法で資料を読み解くかを理解させる。</u>	・学習の目的を理解し、目標を持つことができたか。 ・どのような方法で資料を活用するのかを理解したか。 (③・④)
5	資料活用を学ぶ	○ 資料の読み取りを体験的に学習する	<u>教科書などの記述、図や表・写真などから資料の読み取り学習を行う。</u>	・図や表・写真などの資料の読み取りができたか。 (③・④)
6	資料活用を学ぶ	○ 資料などを実際に読み取っていく	<u>教科書や学校の図書館の書籍を利用し、資料などの読解を行い、まとめさせる。</u>	・教科書や学校の図書館の書籍を利用して、資料の読解ができるようになったか。 (①・②・③)
7	調査活動	○ 課題を設定させ、資料を実際に集める。 ○ 夏季休暇を利用し、博物館や図書館で資料を集める。	・研究課題を設定させる。資料の収集で留意すべきことを(参照・引用)について理解させる。 ・ <u>長期休暇を活用し、図書館や博物館を利用し資料を収集させる。</u>	・書籍やインターネットを活用して、課題解決のためのデータを集めることができたか。 (①・②・③)

※図書館の活用が明記されている。

年度当初に、教科担当者は授業を行う全ての科目において学習の1年間の流れを示す年間指導計画を作成する。この中に、“主体的・対話的で深い学び”に対する指導内容を記述する欄が設けられており、本授業においては、その欄に「資料を活用し、歴史の説明などの学習活動を通して言語活動を充実させ、資料活用の技能を培い、習得した知識・概念のより深い理解と定着を図る。」と記されている。単に知識を伝達するだけでなく、知識のまとめ方や伝え方を工夫させることで言語活用の充実が期待できる。

○ 1年間の授業の流れ

(1) 資料の活用に慣れる

歴史に関するテーマを取り上げ、教科書の「記述」「図」「表」「写真」からそのテーマに関連するものを適切に抜き出す練習を行う。また、過去に模試やセンター試験で出題された資料読み取り問題に挑戦する。

2019年度 日本史Bセンター試験より抜粋

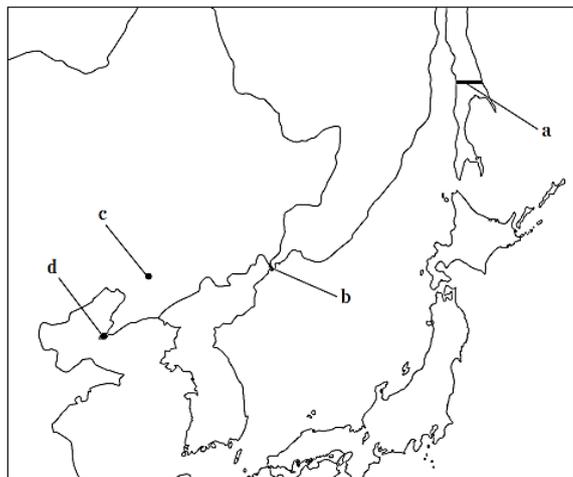
問 6 下線部㉔に関連して、次の写真X・Yと、それが設置された場所(境界線・都市)を示した次ページの地図上の位置a～dとの組合せとして正しいものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。 6

X



写真の文字は右から左に読み、上段最後の文字は「國」で「国」のこと。石碑の裏面には、ロシア語で「ロシア」「境界」の文字と、石碑の設置年を示す「1906」の数字が刻まれている。

Y 関東州の管轄と南満州鉄道株式会社の保護・監督にあたる機関



- ① X-a Y-c ② X-a Y-d
- ③ X-b Y-c ④ X-b Y-d

(2) テーマを設定する

日本史に関連した内容で、自らが興味・関心があることをテーマとして設定する。生徒が設定したテーマは、「黒田孝高」「吉田松陰」「徳川家康」といった人物から、「沖縄」「大阪」「若松」といったある都市に関する歴史、「小倉城」「太宰府天満宮」などの建造物に至るまで様々であった。

(3) 調べ学習をする

図書館での調べ学習を行う前に、資料収集する際の留意点について確認した。その後、図書館でテーマに関する書籍を探し、関連する記述や資料をメモ、あるいはコピーをとる。この授業において図書館は計25時間活用した。

【留意点】

- ・集めることに終始しない
本を丸写しするのではなく、書かれている内容をよく読み、テーマに関連していることだけを抜き出したり、要約したりすること。
- ・複数の資料を見比べる
テーマに関する資料を集めたら、それらを比較することで、書かれている内容の共通点や違いを明らかにし、差異が生じる理由や背景について検証する。
- ・疑問をそのままにしない
考えていくなかで、わからないことが出てきたらそのままにしないで、さらに調べて疑問を1つずつ解決していく。そうすることで、調べ学習が発展し、内容が深まる。

【活用実績】

4月・・・11日4限 12日1限 17日1限 18日4限 (4時間)

5月・・・ 7日2限 9日4限 10日1限 14日2限
15日4限 16日4限 17日1限 21日2限
29日1限 30日3限 31日1限 (11時間)

6月・・・ 4日2限 5日1限 7日1限 13日4限
14日1限 18日2限 19日1限 20日4限
21日1限 26日1限 (10時間)

(4) レポートを作成する

書籍で調べた内容についてレポートにまとめる。その際、レポートの書き方についてレクチャーして、最低限記載すべき以下の項目を確認する。

- ① 表紙 ……テーマ、クラス、氏名
- ② 目的 ……テーマ設定の理由や調べる目的を明らかにする。
- ③ 調べる方法 ……どのような方法で調べたか。
- ④ わかったこと ……調べてわかったことを人に教えるようにまとめる
- ⑤ 感想 ……工夫や苦労したことについて書く
- ⑥ 参考文献 ……本の名前と著者名、インターネットの場合はURLを書く

実際に生徒が作成したレポートの一部

1901年に八幡製鉄所ができ年月と共に規模を広げ、さらに重化学工業の企業も発展。工業が発達するとそこには必ず公害が発生。海は一度汚染されると元に戻すのが難しい。

当時は科学的な知識と情報が欠落してただけなく目先の利潤が強く追及されたため現在行われている排出処理が当時されていなかった。

シアニド、カドミウム、ヒ素、水銀などの有害物質が海に流された結果、船のスクリューが溶けるといふ事態まで起きた。また、八幡製鉄所は全ての産業廃棄物をそのまま海に捨てた。そのため生命体がいなくなり、自殺しようと思って飛び込んだが体が沈まなかったという喜劇がよくあった。

昭和40年には、「汚染日本一」「二度と甦らない海」と呼ばれた。また、工場からの煙「七色の煙」とも言われた。

公害問題に最初に気付いたのは市民だった。「家の中がザラつく」「洗濯物が汚れる」などの声があがった。それは製鉄所の62個の煙突から出たものだった。

排出された粒子は1日あたり27トンにのぼった。

なお2007年には低質ダイオキシン類の環境基準を超過する低質汚染があることを行政が公開した。



※北九州市の洞海湾について調べたレポート

(5) パワーポイントを作成する

レポートにまとめた内容をもとに、発表用のパワーポイントを作成する。大半の生徒がパワーポイントを作成した経験がなかったため、作成上の基本事項について確認した。

【基本事項】

- ・スライドの構成最初にタイトルスライドを入れ、レポートの①と同様の内容を載せる。その後、調べ学習の中身である本文や図表について書き、最後に内容のまとめや感想、参考文献を書く。

- ・スライド1枚の情報量

1枚のスライドでは1つのトピックに絞り、1分以内に説明できる量にする。スライドは「読む」資料ではなく「見る」資料であり、あくまでも発表の視覚的な補助として簡潔にまとめる。

- ・スライドのデザイン

文字のフォントを見やすい種類とサイズに設定する。また、色数はなるべく少なくして、使用する箇所を決めることで統一感のあるスライドにする。

実際に生徒が作成したパワーポイントの一部

仮説

- 紫式部と清少納言は仲が悪かった

CHECK
紫式部はロマンティック不倫物語「源氏物語」の著名

CHECK
清少納言は、どこか切なさ残るほのぼの日常エッセイ「枕草子」の著名

POINT
紫式部が仕えていたのは藤原彰子（ふじわらのしょうし）

POINT
清少納言が仕えていたのは藤原定子（ふじわらのていし）

紫式部「清少納言と比べられるのが悔しい!!!」

- 紫式部は清少納言を強く意識していた。
- 清少納言を筆頭とする藤原定子に仕える女官たちが完璧すぎた。
- 清少納言は、教養があつたり機転が効いたりで公家たちから人気があり、まさに女官世界のアイドル

紫式部と清少納言の関係まとめ

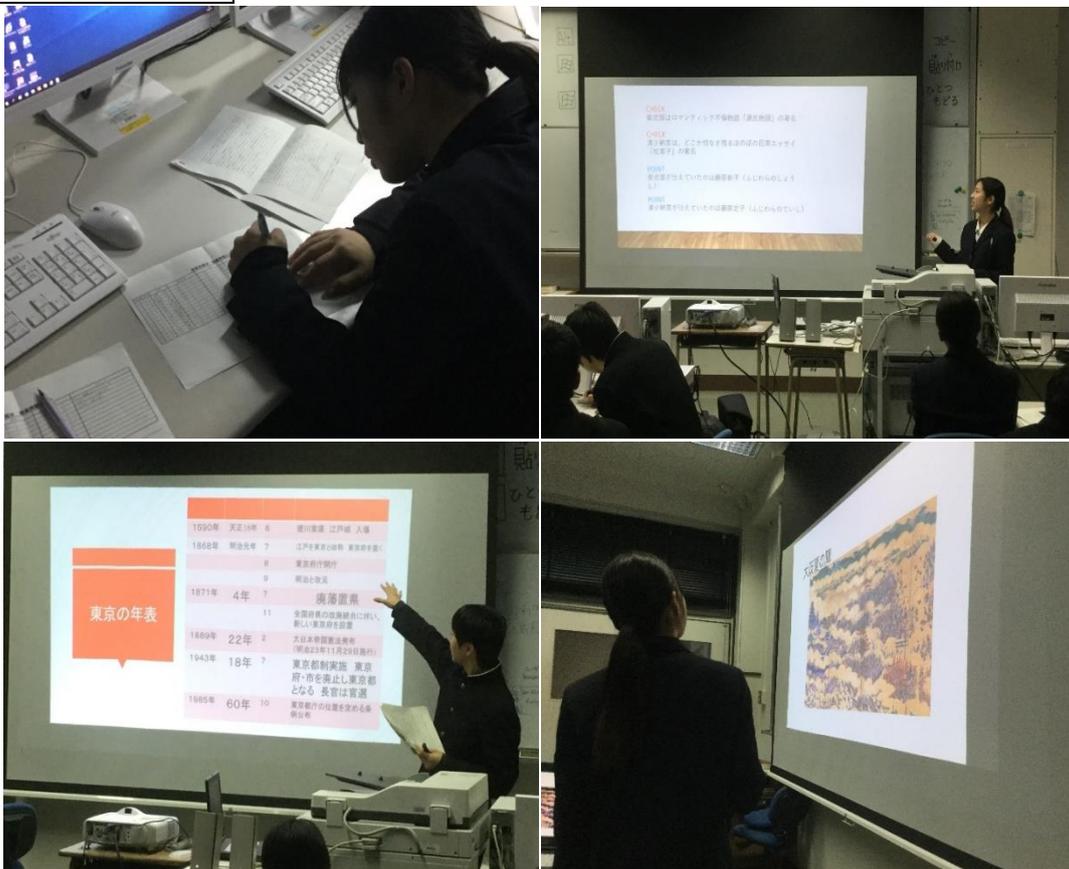
仮説より、紫式部と清少納言は仲が悪かったのではなく、清少納言を筆頭とする藤原定子に仕える女官たちが完璧すぎたこともあり、紫式部が一方的にライバル視していただけであった。

感想
紫式部と清少納言の性格は真反対でそんな二人から生まれた「源氏物語」と「枕草子」もまた、その性格の違いを反映するかのようによく異なる文学作品となっているのがとても興味深いと思った。

(6) 生徒による発表

作成したパワーポイントを用いて、調べ学習に関する発表を行った。その際、発表評価シートを配布して、「(スライドの)見やすさ」「内容」「話し方」の3点について評価させた。

生徒による発表の様子



東京の年表

1590年	天正18年	6	徳川家康、江戸城入幕
1868年	明治元年	7	江戸幕府の滅亡、東京府の設置
		8	東京府の移行
		9	明治天皇の即位
1871年	4年	7	廃藩置縣
		11	全国政令の整備がひと通り、新しい東京府を創設
1889年	22年	8	大日本帝国憲法発布（明治21年11月29日施行）
1943年	18年	7	東京府制実施、東京府・市を廃止し、東京都となる。教育は専攻
1985年	60年	10	東京都庁の庁舎を定める条例公布

○ 授業を通して

授業後に実施した振り返りアンケートにおいて、多くの生徒は「資料を活用することの難しさを感じた。」と回答していた。読み解くことさえも難しいと感じるような資料から、その内容を要約して、自分なりにまとめる作業は思いのほか大変だったようである。しかしながら、回を重ねるうちに、必要な情報を抜き出し、効果的に活用する方法が身に付いていった。生徒が作成するレポートやパワーポイント、あるいは発表自体も要点がきちんと整理されるようになり、そのことが窺える仕上がりであった。この経験は、日本史のみならず、他教科ひいては社会人になってからも生かせるものになったと考える。

英語科 英語で世界各国を紹介する 実践報告

福岡県立小郡高等学校

1 主題設定の理由

昨年度は「英語で日本を紹介する」をテーマに、図書館にある資料やインターネットを利用して生徒たちにプレゼンテーションを行わせたが、ALTからの要望もあり、今年度はそれを発展させて英語で諸外国を紹介することをテーマにした。あわせて、自らが選択した諸外国についてグループ内で意見を集約して1枚のポスターを作成し、それをもとにプレゼンテーションを行うことで他国への興味を深めるとともに英語のスピーキング能力の向上を図ることが主題とされた。

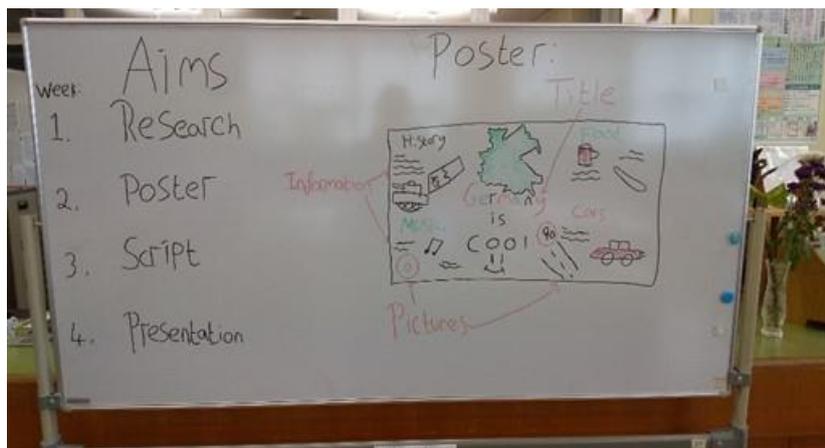
2 指導の実際

対象となったのは1年生5クラスで、1月中旬から下旬にかけて実施することになった。本校図書館のみでは資料を揃えることが難しかったので、小郡市の図書館ネットワークを利用して市内の中・高校および市立図書館より資料約100点を事前に借り受けた。

割り当てられた時間数は4時間で、各時間内に実施する内容は下記のとおり。

【1時間目】

1クラスを4人のグループ10組に分け、それぞれで話しあってどの国を紹介するか決定させた。その際、同一クラス内で重複する国がないように配慮した。



【2・3時間目】

グループで決定した国について、1枚のポスターでその国の食、ファッション、有名人、建築物、歴史や音楽を紹介できるよう図書館にある資料を調べて作成にあたった。あわせて、最終日に実施するプレゼンテーションのためのスクリプト（脚本）づくりにも取りかかせた。

【4時間目】

1～3時間目のあいだで作成したポスターとスクリプトを使用してグループごとにプレゼンテーションを行った。

3 考察

事前にどのグループがどの国を選ぶのか把握できなかつたので、アジア、ヨーロッパ、アメリカ、アジアなど世界のさまざまな国の資料を収集したが、結果的にどのグループも知名度が高い国を選択することになった。これは資料の偏りもあるのだろうが、最終日にプレゼンテーションを実施することからなるべく他者がイメージしやすい国々を選んだものと思われる。

また、本校では国語以外の科目を英語のみを用いて授業をおこなう「英語イメージ教育」を昨年から実施しており、当該の1年生も何度かその授業を受けていることから英語で話すことの抵抗感がそれほど強くないと思われる。そのため、4時間目のプレゼンテーションでは発表も滞りなくスムーズに実施することができた。

4 今後の課題

筑後地区の学校では比較的調べ学習の頻度が高いといわれている。本校も同様に図書館を使った授業が多いのだが、これは小・中学校時代に同じような教育を受けているせいはこちらが準備している資料に加えて、館内検索や実際に書架に行き自ら資料を探し出してくることができる生徒が見受けられた。小・中学校を通して培った図書館を使いこなす能力を維持することができたのは成果といえる。

課題としては、考察の項目でも触れているが資料の偏りが結果的に生徒たちに知名度の高い国を選択させてしまったことから、もっと広範囲に資料を収集する必要があると思われる。実際、初期の段階では中東やヨーロッパの小さな国を選んでいったものの、必要とする資料がなくて他の国に変更するケースが複数見受けられた。

今後同様なテーマで調べ学習を実施する際には、担当教科と連絡を密にし、また相互貸借を利用する場合にはテーマに合致した資料を収集できるよう、的確な情報を提供する必要があるだろう。



生徒が主体的に本に関わるための取り組みについて

福岡県立城南高等学校

1 授業までの流れ

【授業前の準備】

図書館利用AP（別紙参照）を事前に記入してもらう。

テーマ等，なるべく詳しく書いてもらう。授業で使うプリントがあれば受け取る。

【授業開始までにすること】

《大まかな資料の準備》テーマに関連する資料をブックトラックに用意する（50～100冊程度）

《館内の準備》個別かグループかで座席のセッティングを変更する

《団体貸出》県立図書館へ申し込む 最大貸出数：40冊 貸出期間：1か月（無料配送）

2 指導の実際

授業名：世界史探究（3年生） 生徒数13名

テーマ：古代～中世のアジア世界を究める！

図書館で調べてまとめる時間：7時間

発表：3時間

内容：タイトルや内容などを各自図書館の資料を使って考える。

必ずみんなを「へえ～！」と言わせるハイレベルな内容を盛り込むこと。

【司書の仕事】

それぞれの生徒が選んだ本の確認やフローワークをしながら生徒一人一人にヒヤリングをおこなって、より適切な資料の書架へ案内する。（時数によっては直接資料を提供）

生徒が選んだテーマ	提供した主な資料
清のシンボル！辮髪とは？	清朝と近代世界
チャイナドレスでわかる！！美人の条件★	チャイナドレス大全
GO TO 西アジア	世界の美しいモスク
国際都市教案と日本	中国史
始皇帝は暴君か否か？	始皇帝大全
中国の世界遺産	ビジュアルワイド世界遺産
大ピンチの時大活躍する諸葛亮	三国志3000人
ホントの西遊記～三蔵法師の旅路～	三蔵法師インドに行く
千夜一夜物語について	アラビアンナイト 文明のはざまに生まれた物語
ゾロアスター教の歴史と与えた影響	ゾロアスター教史
ラマダーン中何してるの？	アラブからこんにちは
インドカレー	インドカレー紀行
音を楽しむという文化が持つ歴史と力	世界音楽文化図鑑 世界の楽器百科図鑑 音楽の感動を科学する

生徒図書委員合同研修会について

毎年、4地区において図書委員会の合同研修会が行われている。この合同研修会の目的は、他校の図書委員との交流を通して、魅力ある図書館づくりや情報発信の方法について学んだり、読書の奥深さを体験したりしながら、図書委員としての資質を磨き、今後の図書委員会活動に生かすことである。

令和元年度図書委員合同研修会日程	
北九州地区	
時間	内容
9:00～9:20	受付
9:20～9:45	開会式・オリエンテーション
10:00～12:00	実務分科会 ①図書館ポスター ②ビブリオバトル ③朗読バトル
13:15～14:15	レクリエーション
14:25～15:50	読書会 ①ことばハンター ②そして、バトンは渡された ③変化球男子
15:50～16:30	全体会・閉会式
筑豊地区	
時間	内容
9:30～10:00	受付
10:00～10:15	開会式・オリエンテーション
10:20～12:00	実習 「本の帯」制作
13:00～13:30	レクリエーション イス取りゲーム
13:30～16:00	ビブリオバトル
16:00～16:30	閉会式
福岡地区	
時間	内容
1日目	
9:20～9:50	受付・出品作品展示(我が校の図書委員会活動紹介)
10:00～10:20	開会行事・オリエンテーション
10:30～11:00	交流会
11:10～12:40	ビブリオバトル予選 分科会
13:50～15:20	①図書館の催しについて(討議) ②読書をしない生徒に興味を持ってもらうには(討議) ③POP作成 ④ブックカバー・しおり作成 ⑤消しゴムハンコ ⑥読み聞かせ
15:40～15:50	ビブリオバトル決勝出場者発表・諸連絡
2日目	
9:10～9:25	受付
9:40～10:40	ビブリオバトル決勝
10:50～12:20	読書会 ①この川の向こうに君がいる ②そして、バトンは渡された ③君は月夜に光り輝く
13:30～14:20	係別反省会、写真撮影、感想文及びアンケート記入
14:30～15:30	全体発表会、閉会式
※台風接近のため、2日目は中止	
筑後地区	
時間	内容
9:30～10:00	受付
10:00～10:15	開会行事
10:20～12:00	読書会
13:00～15:00	ビブリオバトル 講演・実演、ワークショップ 講師：九州国際大学現代ビジネス学部 教授 松井 貴英 氏 ビブリオバトル普及委員会九州地区副代表 佐藤 慧 氏
15:00～15:25	反省会
15:30～16:10	閉会行事

北九州地区高等学校図書委員夏期合同研修会

福岡県立若松高等学校

1 合同研修会における取組

令和元年度の研修会は、主に「実務分科会」「レクリエーション」「読書会」を実施した。「実務分科会」は、①図書館ポスターの製作、②ビブリオバトル、③朗読バトルの3つから1つを選択して参加するというものであった。

【実務分科会】

① 図書館ポスターの製作

B4の厚紙を当日配布し、「図書館へ行こう」「読書の秋」「校内読書週間」等のテーマで、図書館をアピールする内容のポスターを製作するといった内容であった。個人戦で、1人につき最低1作品（複数可）を予定時間内に完成させ、研修会に参加した生徒及び職員で投票を行った。

② ビブリオバトル

1人4分間で本を紹介して、その後の2分間で参加生徒によるディスカッションを行った。紹介する際は、事前に準備してきた原稿を読み上げることは禁止されていた。最後に参加生徒全員で、一番読みたいと思った本を1冊選んで投票した。

③ 朗読バトル

規定時間（予選1分、決勝2分）以内に、自分で用意してきた本の朗読を行った。トーナメント形式で対戦し、組合せは当日のくじによって決定した。朗読者以外の参加者が、「先攻」「後攻」と書かれた札を挙げて、多数決によって勝敗を決した。

【レクリエーション】

北九州市子ども会連合会シニアリーダーの有永琢哉さんをお招きして、簡単なゲームを通したグループエンカウンターをしていただいた。生徒は、数名のグループで円形に座り、「指キャッチ」「ワードポーカー」「もしかめ」といったゲームを通して、徐々に親睦を深めていった。このことが、その後の読書会において発言しやすい雰囲気づくりに生かされたように感じる。

【読書会】

選定された3冊（令和元年度は「ことばハンター」「そして、バトンは渡された」「変化球男子」）から1冊を事前に読んで、話し合いたい内容や意見を聞いてみたい箇所を考えてくる。当日は全員参加で、15人前後のグループで議題についての討論や、意見交換を行った。

2 学校司書や教員の関わり方について

学校司書や教員は、まず読書会で扱う本の選定を行う。「生徒が読んで理解できる内容であるか。」「ディスカッションのテーマ設定がしやすいかどうか。」等の判断基準で、3冊に絞っていった。その後は、実務分科会と読書会にむけて生徒に事前指導を行った。本校生徒は朗読バトルに参加したため、本のどの箇所を朗読するか、読む際のスピードや抑揚の付け方をアドバイスした。また、読書会については事前に生徒が選んだ本と同じ本を読み、お互いの感想を共有した。

3 成果と課題

成果については、研修会後のアンケート結果から大半の生徒（75名中66名）が会に満足していると回答しており、生徒自身にとって充実したものであったことが伺える。また、事前の準備から当日の研修会までに、生徒はじっくり1冊の本と向き合うことができたうえに、他校の生徒からも意見が聞くことができた。そのことが、生徒の読書に対する意識を高めるだけでなく、広い視野や深い思考の醸成に繋がった。また、会の進行は生徒に委ねられているため、主体性や協調性を身に付けた。

課題については、学校間の学力差と温度差であるといえる。例えば、読書会において討議を積極的に行うことができているのは、比較的高い学力を有する生徒で、そうでない生徒は話についていくことができないという現状がある。また、学校によっては事前指導がなされておらず、生徒が最後まで本を読めていなかったり、発言を求められる場面で言葉に窮したりする姿が見受けられた。

4 その他

令和2年度は、ZOOMにおいて図書委員の交流会を実施した。学校のPC及びタブレット端末を使用して、1時間の中で各校の生徒が「自己紹介」「おすすめ本紹介」「好きな本の朗読」「自分の図書館アピール」等を行った。1校に割り当てられた時間が2分程度と短かったが、生徒は事前に話す内容をよくまとめており、円滑に進行することができた。また、事前に本のイメージイラストを募り、その作品と交流会の感想を冊子にまとめて参加校に発送した。

筑豊地区高等学校図書委員夏期合同研修会について

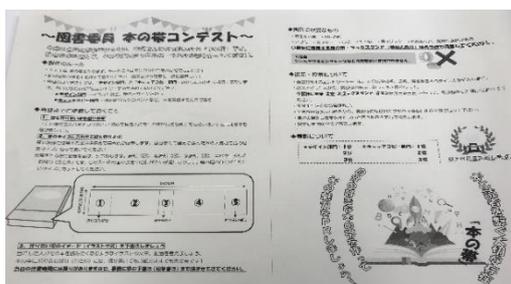
福岡県立嘉穂総合高等学校

1 生徒図書委員合同研修会における取組について

筑豊地区では制作実習と読書発表を主な研修内容としている。令和元年度は「本の帯」を実習課題とし、読書発表は書評合戦いわゆるビブリオバトルを実施した。また、レクリエーションとして「椅子取りゲーム」をビブリオバトルの前に行い、生徒間の親睦を図り、より研修しやすい雰囲気づくりを行った。

【「本の帯」制作】

自分の感動・感銘したことを、インパクトある言葉や絵で簡潔に表現することを目的とした、「本の帯」の制作を行った。製作するにあたり紹介本を熟読し、どの場面のどんな言葉に心が震えたか、それをどのように表現したら伝えられるのか、様々な試行錯誤を繰り返しながら作製していった。デザイン部門とキャッチコピー部門に表現方法を分けて得意分野を選択させた。デザイン部門では心の感動をイメージした絵や色、形で表現するテクニカルな要因、キャッチコピー部門では感動の核心を短文で著す語彙やフレーズ等を考えながら「本の帯」を作り上げた。完成した帯は本に巻き展示し、全員で評価、投票し優秀作品を選んだ。



【レクリエーション】

音楽を流し、それが止まったら椅子に座る。だんだん椅子の数が減り、座れなかった者は脱落し最後に残った一人だけが勝者となる。とても単純なゲームであるが、異常な盛り上がりを見せ、「みんな友達」となる楽しい雰囲気を作り出した。次の研修であるビブリオバトルをスムーズに行うための良い下準備でもあった。

【ビブリオバトル】

筑豊地区ではそれまで実施していた読書会に代えて、平成30年度から「ビブリオバトル」を開始した。実践にあたり初めて体験する生徒の不安を取り除くため、「筑豊ルール」を制定した。紹介する本のジャンルは問わず（漫画も可）、紹介時間を3分、討議時間を2分に設定した。予選は参加者を3ブロックに分け、5名程度のグループによるワークショップ型で行い、決勝戦は最終バトル3名によるイベント型で実施した。チャンプ本は、教員や学校司書も含む参加者全員の投票を行い決定した。令和元年度は74名の生徒がバトルになり熱戦をくり広げた。



2 学校司書や教員の関わり方について

上記の実習や実践については、主体的に生徒が自由に自分の思いを表現することが重要であるので極力静観した。ただし、ビブリオバトルについては本地区は黎明期であり生徒も初めて経験する者が多く、その実施方法を丁寧に説明する必要があるため概要をまとめたプリントを配布し、伝え方、注目させるべきポイント、読書意欲喚起等の説明を行うと共に、インターネットの動画を視聴させ、生徒自身が臨場感を体感することでより理解を深めさせた。選書や発表内容は各々自由に行わせたが、本が決まらない生徒には、本の好みや思い入れのある図書などを聞き出しながら、推薦本の決定を手助けした。また、発表に不安を感じる生徒には、読み上げ原稿の作成や暗唱指導、寡黙にならないような工夫やリハーサル等を行い自信を持たせた。

3 成果と課題

「本の帯」制作については、研修時間の都合で事前に下書きをさせていたため、スムーズにできていた。出来上がった作品の評価をするにあたり、同一本の紹介でも全く異なる表現や着眼点の違い等を感じながら、両部門とも自分の思いを不特定多数の人達に的確に伝達することの難しさを学んだようである。ただ、帯は字数やデザインを描くスペースが狭小であるため、POP制作の方が良かったという声もあった。しかし、心に響くインパクトのある絵や思いを表す一語を練り、考えるという意味では良かったのではないかと思う。

一方、ビブリオバトルは多くの生徒に支持され有効な成果が得られている。初めて実施した平成30年度は92%であった肯定率が令和元年度では99%に上昇している。紹介本のジャンルを自由にしたことで、日頃漫画しか読まない生徒も参加しやすくなり、友人等の紹介を聞いて活字の本にも興味を持つきっかけに繋がった。最初は参加するだけでよかった気持ちが、敗戦により悔しい気持ちに変わっていき、来年もまた挑戦したいという意識の変化が見られた。「自分が読んだことのない本について沢山知ることができた」「発表するときは緊張したけど、頷きながら聞いてくれたり質問してくれたり、とても嬉しかった」「ビブリオバトルが一番楽しかった」「来年もまたやりたい」など生徒の感想は如実にこの研修の成果を表している。「本の紹介をしているだけなのにどうしてこんなに楽しいの!?!」この生徒の言葉にあるように楽しく本にふれあい、「もっと本を知ろう、知りたい」と思う気持ちを抱かせることができた。また、司書の観点からは生徒の立場に立って求めている本を感じとることができ、選書など学校図書館運営に有効な活用ができた。

今後の課題としては、「この本を読んでもらいたい」という気持ちを声に出し発表するビブリオバトルにおいて、発表原稿を書かせる際に話し言葉ではなく書き言葉になりがちなため、事前指導の内容の再考が求められている。

「人を通して本を知る 本を通して人を知る」というビブリオバトルの精神を具現化するために、多数の学校の生徒が一堂に会する合同研修会は、実践にあたっての最良の場であると思われる。そこで得たノウハウを学校行事や授業で取り入れ、読書活動の活性化に繋げていくことが重要である。読書に興味のない生徒にも「かけがえのない一冊」に出会えるように、更なる取組が教員や学校司書等関係職員に求められていると思う。

福岡地区高等学校生徒図書委員合同研修会

福岡県立香椎高等学校

1 生徒図書委員合同研修会における取組について

福岡地区では、約50校の高校が参加し、ビブリオバトル、交流会、分科会、読書会を中心に研修を行っている。平成30年度から全体会で行っているビブリオバトルについては、各学校から代表者1名を選出し、グループに分かれて予選を行う。決勝戦は、研修参加者全員の前で行い、聴衆者全員の投票をもってチャンプ本を決めている。交流会については、交流会担当校が内容を決めており、毎年さまざまな内容で交流を図っている。分科会と読書会については、事前に希望をとり、希望者が多いものを中心として内容を決めている。

令和元年度は台風接近のため、2日目が中止となった。令和2年度は、今まで2日間開催であったのを1日開催にかえ、場所も中央市民センターからなみきスクエアに変更して行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となった。

2 学校司書と教員の関わり方について

生徒主体の研修会のため、当日は運営をはじめ、生徒が主体となって研修を行っている。事前の関わりとしては、本校の場合、初めて研修会に参加する生徒がほとんどであるため、前年度の記録集を見せながら、どのような研修会であるかをイメージさせている。基本的に、生徒の意見を大切にしており、生徒だけではわからないことやスケジュールの確認などを学校司書や教員がサポートしている。

本校生徒は、分科会において『ブックカバー・しおり作成』に1名、『消しゴムはんこ』に2名参加した。その中で、ブックカバー作成を11月の読書週間の校内イベントとして行うことにした本校ファッションデザイン科から授業で余った布の切れ端を提供してもらうことにより、材料費をかけずに作ることができた。生徒たちは、こちらが思っていたよりも楽しみながら自分好みのブックカバーを作成していた。ブックカバーを作った後、本を手取る生徒が多く、来館者も増加した。

3 成果と課題

今回の取り組みにより、生徒図書委員自らが学んできた内容を本校生徒に還元できる喜びを得ることができた。また、自分たちがやって楽しかったことを自校の催しとして行うことで、図書委員以外の生徒にも楽しんでもらうことができた。

このように図書委員が活動に喜びを感じたり活動を楽しんだりすることが、他の生徒たちが図書館に向かうきっかけにつながると考える。このきっかけを大切に、さらに生徒たちが主体的に本と関わるようにしていく取り組みを考えていかなければならない。

読書週間(11/1~11/15)限定イベント

両面テープで作る

簡単ブックカバー
作成コーナー

F D 料からもらったはがきで作ります!

- ・ 厚み 13:00~13:30 と 放課後 (月)水(金)16:00~17:00 に行います。
- ・ 作り方のプリントを見ながら自分でつくります。
- ・ 作りたい 15~20 分くらいでできあがりです!! (個人差があります)。
- ・ 作ったものは持ち帰ってください。
- ・ 机の上のごみや糸くずは片付けて帰りましょう。
- ・ わからないときはカウンターの図書委員が丁寧に声をかけてください。お手伝いします。

図書委員会



福岡地区高等学校生徒図書委員合同研修会

福岡県立城南高等学校

1 生徒図書委員合同研修会における取組について

平成24年から28年にかけて分科会で行われた「物語スコア」について紹介する。講師に目黒キョウジュを迎え、毎年異なるテーマの課題で実施している。

「言葉というのは、読む、書く、聞く、語る。この4つの運動性が大事なんですよ。」

用意するものは「物語がすらすら紡げる」ペンとノート、ペンネーム（この分科会がきっかけで作家になってしまうかもしれないので）。

前半に目黒キョウジュの講義があり、その後ワークショップ形式で進められる。

《例》・課題文A, Bを読み、その続きの物語を書いてくる。

- ・チェーホフの「いたづら」を読み三つ目の結末を書いてくる。
- ・連歌、連詩、リレー小説を同時進行。

書いた後には一人ずつ朗読。一人一人に目黒教授のコメントがある。

「耳で聞くこと、口で語ることを大事にしてください。」

2 学校司書と教員の関わり方について

合同研修会後学校へ持ち帰って以下の実践を行った。

年に3回程度、図書委員の中から希望者（4人以上10人以内）を募り、17時から19時の約2時間実施した。連歌、連詩、リレー小説を同時に書き、出来上がった作品は図書委員の発行する図書日より『シニエ』に一部掲載、連歌、連詩、リレー小説は冊子にして図書館に展示した。

3 成果

とても好評で、初回1グループ（5人）だけであったが、図書委員以外にも参加希望者が増え、最大3グループ（4人×3）で開催した。また、物語について話す雰囲気が高まったことにより、自然発生的に昼休みや放課後読書会やビブリオバトルを始める生徒も出てきた。

学校での実践 5人で五行詩をリレーし、一つの詩を完成させる

「学校」
梅千しうまいな
お母さんの握ったおにぎりの梅千し
たった四十五分の休み時間
話したいことたくさんなのに
話しきれない休み時間
私は求める
私の居場所を
すべてを話せるような場所を
友人と共に
すべてを楽しめる世界に
そして探している
心の平和を
嫌なことも苦しいことも
すべてを包み込んでくれる
私の平和
いつか見つかるといいな
みじかい四十五分間に
友達や
クラスの人などと
おしゃべりして
それが永遠のように
感じられる和の平和が
そう思いつつ
私は今日もすす
たった四十五分の休み時間

筑後地区高等学校図書委員合同研修会

大牟田高等学校

1 生徒図書委員合同研修会における取組について

(1) 筑後地区図書委員合同研修会参加の目的

図書委員合同研修会に参加することで各校の図書委員会活動の情報交換や体験活動を通して、生徒の「考える力」「生きる力」の育成指導ができる。

(2) 筑後地区図書委員合同研修会の概要

期日：令和元年7月31日（水）9時30分～

会場：久留米シティプラザ

参加校29校 参加者数 生徒98人（各学校生徒4名以内）職員63人

【読書会】

- 課題図書は、総会前各校1冊推薦図書を事務局校に提出する。総会時出席者が1人2冊投票して、推薦図書リストを発表する。

投票結果を参考に、幹事会で生徒にとって興味、関心があるもの、人気作家の作品、映画の原作本などタイムリーな作品、または意見交換が活発になりやすい身近な問題がテーマの作品、自分と登場人物を重ね合わせやすい作品などから課題図書を2冊選ぶ。

課題図書『卵の緒』瀬尾まいこ/著 『日々是好日』森下典子/著

- 4つのグループ（4部屋）に分かれて実施する。読書会開始前に、自然と親しくなるように参加者全員でミニレクリエーション（じゃんけん列車）を行った。
- 司会者をはじめ参加者が、自己紹介と作品に関することを一言述べるなどして、意見交換しやすい雰囲気をつくる。

【ビブリオバトル研修】

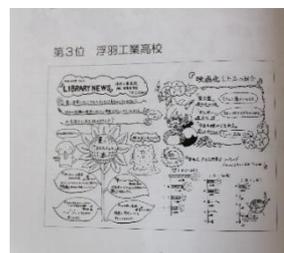
講師（九州国際大学現代ビジネス学部教授松井貴英氏・ビブリオバトル普及委員会佐藤慧氏）の講演から大学生3人による実演を参考にして、5人1グループでビブリオバトルを行う。実践中は、講師や大学生の方々が見回り、褒めていただいている場面もあった。また環境が変わると、学校であまり見ない姿や表情を見ることができる。読書を通じて得られた知見や感動を人に話すことで、「伝える力」が身につく、自信につながる。チャンプ本に選ばれた生徒は、とても嬉しそうなお表情を見せ、達成感を得られたことがわかった。

【図書館だよりコンクール】

昼休みを利用して投票する。20校参加した。投票は生徒のみ。

掲示板に学校名は公表しないようにして、図書館だよりを20枚貼り、気に入った図書館だよりにシールを貼る。他校の図書館だよりを参考にすることができて、勉強になる。

- 1位 大牟田高校 30票
- 2位 ありあけ新世高校 22票
- 3位 浮羽工業高校 7票



2 学校司書と教員の関わり方について

事前準備は、支部の読書会とビブリオバトルの練習、校内でビブリオバトル指導や図書館だよりの作成アドバイスなど、研修会にかかる様々な準備を行った。

研修会当日は、読書会で意見交換が滞った場合、ヒントを助言者（教諭）が与える。それ以外は、生徒の自主性を尊重し静観する。全体的に、生徒を見守り、話に耳を傾け、よりよい研修会となるよう配慮する。

3 成果と課題

(1) 成果

読書会で意見交換後、一人で読んだときより視野が広く、深い読み方になっている。支部の読書会とビブリオバトルの練習をしているため、筑後地区図書委員合同研修会に参加しても不安はなくスムーズに進めることができる。

筑後地区図書委員合同研修会は、やりがいがある活動で、生徒たちにとって「主体的、対話的で深い学び」になっている。また、人と本を、人と人をつなぐ場所であり、いろんな情報を皆で共有して、コミュニケーション力や人間性を成長させることができる。

(2) 課題

新型コロナウイルス感染症の拡大により、急遽臨時休校となり、さまざまな影響が出てきた。やむを得ない状況の中で、今後どのように図書委員会活動を活性化するか考えなければならない。

「参考文献」

令和元年度第52回筑後地区高等学校図書委員合同研修会の記録

筑後地区高等学校図書館協議会（事務局 福岡県立八女高等学校）/編集・発行

コロナ禍における図書館運営

1 コロナ禍における図書館運営について

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、実際に各学校図書館が運営するにあたって実施・留意している事柄を報告する。

・開閉館における対応

部分登校時はカウンターのみ開館。

極力本は予約したもののみを受け取る。（スマホなどで予約可能な場合）

予約以外は滞在時間10分以内で本を借りる。

利用する学年を曜日で設定する。（月：1年生 火：2年生 など）

開館時における注意事項を館内に掲示する



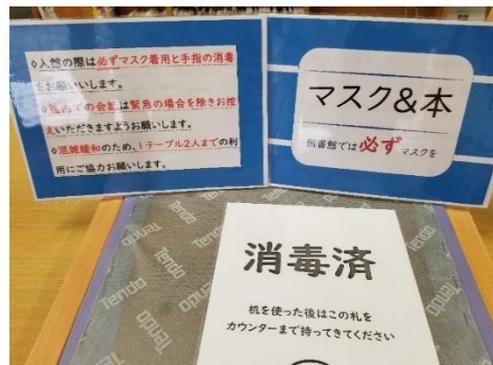
・館内整備

入口に消毒液を設置する。

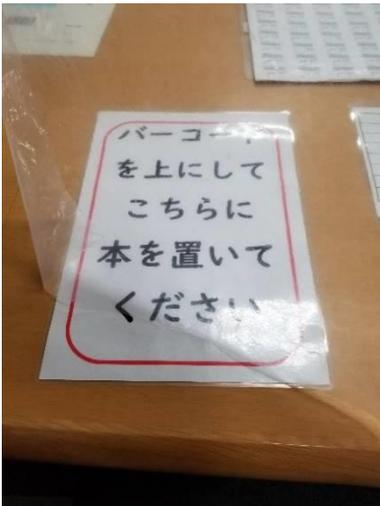
入口と出口を分ける。また、来退館者を誘導するために→をつける。

換気のため、出入口および窓を常に解放する。「手洗い」「消毒」「ソーシャルディスタンス」

「マスク」などを掲示する



カウンター付近の床にマークをつける（2m間隔など）
机や椅子のレイアウト変更



カウンターに飛沫防止のビニールをつける
濃厚接触を避けるため図書委員のカウンター当番を当面は実施しない



・課題

授業で1クラス分の40人が入ると机と椅子の数の関係から向いあわせ6人掛けにせざるを得ず、感染の危険性が生じる。

閲覧机においてもアクリルのパーテーションが必要である。

新生生オリエンテーションは従来の図書館で実施する形ではなく、動画や音声を用いた方法も検討すべきである。

在宅勤務について

福岡県立城南高等学校

1 はじめに

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から令和2年度は在宅勤務が推奨されるようになったが、それは学校図書館も例外ではなかった。ここでは実際に在宅勤務をおこなった際の業務内容や注意点、今後の課題について説明する。

実際に在宅勤務を実施するにあたって、最も重要なものは「個人情報を持ち帰らない」ということだろう。図書館の場合はそれほど個人情報に関わるデータは多くないのだが、それでも生徒名簿や貸出の記録など個人のプライバシーに関連するデータが存在する。これらのデータの紛失・漏洩はさまざまなトラブルを生み出す原因となるため、校外に持ちだしてはならない。その点を踏まえたうえで、在宅勤務で実施したおもな業務とその内容は下記のとおりである。

①選書

自宅のパソコンやスマホ、学校から持ち帰ったカタログやパンフレットを参考にする。その際、取得した書誌データが勤務先のパソコンなどで利用できるかどうか確認しておく（セキュリティの面からUSBメモリが利用できないことが多いため）

②掲示物作成（各種イベントの準備やPOP作りも含む）

読書週間やさまざまなイベントのための掲示物を作成する。その際、どこにどのような掲示物が飾れるかどうか把握しておくため書棚の写真を撮っておくと便利。また、あわせて型紙をコピーしたり、掲示物のひな形のデータを用意しておく。くわえてPOP用の本やペン、はさみやのりなどの文房具類も持ち帰っておく。

③パスファインダー作成

作成する項目に該当しそうな書籍をスマホなどで撮影し、それをもとに自宅のネット等で調べて大まかなリストを作成する。その後、勤務日に確定したリストを作成して担当教諭と打合せする。あわせて、その際に入手した情報をもとにパスファインダー作成のための選書も行う。

④新着図書案内や図書館だよりなどの作成

新着図書案内等で掲載する本を持ち帰って作成する。本以外にも各種書評サイトや本の通販サイトなどの紹介も参考にすることで、よりわかりやすい紹介文が書くことができる。

⑤本の装備

自家用車で通勤している職員以外には難しいが、ブックコートフィルムとラベル、本を持ち帰ることで自宅で装備することができる。②と同様、装備に必要な文房具類も忘れずに準備する。

3 在宅勤務の結果と今後の課題について

現在も週に1, 2度の在宅勤務を実施しており, 例えば授業が入っていない日の午前中は在宅勤務をこなし, 生徒たちが図書館にやってくる午後は出勤するなど, 導入当初から比べてかなりフレキシブルに対応できている。そして, その中で見えてきたものがいくつかある。まずは仕事内容にメリハリがついたことである。とくにこれまでの検討課題だった③のパスファインダーの作成の見通しがついてきたことが大きい。また, 学校に出勤する日が限られていることからどのようにすればその時間で効率よく館内業務をこなすことができるのか検討し, 実行できるようにもなった。

情報漏洩の懸念やコミュニケーションの不足など, 在宅勤務に関する課題は以前から言われていたが, 新型コロナウイルスの感染の行方が見えないことに加え, 働き方改革の浸透から在宅勤務が今後普及・発展していく可能性が高い。そのときに在宅勤務に関する課題がはっきりと見えてくるのではないだろうか。

おわりに

今回の研究テーマの1つは「学校図書館を活用した授業実践報告」でした。

昨今, 電子書籍やインターネットの普及で本を手にとる機会が減少しています。今回の授業実践では, 学校図書館の多様で豊富なメディアから必要な情報を探し出したり, 近隣の図書館からも書籍を借り受け, それをもとに調べ学習をしたりする中で, 様々な本に出会う場を作ることができました。

また, もう1つのテーマは「生徒図書委員合同研修会の実践」でした。これまで, 他地区の研修内容についてはほとんど知る機会がなく, 今回の研究の中で, 各地区の工夫された研修内容や他校との交流が生徒たちにとても良い刺激を与えていることを再確認できました。

新型コロナウイルス感染症により, 図書館は利用の分散や可能な限り距離を確保するなど, かつてない対応が求められています。しかし, 図書館が人と本, 人と人とを結ぶ大切な場所であることに変わりはありません。みなさんの創意工夫でこの危機を乗り越えていきましょう。

令和元・2年度 研究委員会紀要

令和3年7月30日発行

編集 福岡県学校図書館協議会 研究委員会

発行 福岡県学校図書館協議会

福岡市東区箱崎1-41-12 福岡県立図書館内

TEL 092-645-2233

FAX 092-645-2234